

授業科目名 (ナンバリングコード)	日本事情		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)		
担当教員名	吉重 美紀					補助担当者名		な し		
単位数	2 単位		履修年次	1年次（留学生）		受け入れ人数		10名程度		
授業の概要	留学生は、自国や自分自身について日本など他国との比較を通して意識的に捉えなおし、自国の事情や自分の考えを日本語で発信できる力が不可欠である。本授業では、日本事情をきっかけとして提供し、留学生の自国の事情と比較しながらクラスの討議を通して日本の諸事情の理解を深めると同時に、自国の事情についても発信できるようになることをめざす。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	自国と日本、都市と地方、昔と今など、多様な方向から比較するタスクを通して、日本を多角的に知ることができる。	○			○			30
		■情意的領域	日本社会・日本人の意識や行動に対して関心をもつと同時に、一緒に学ぶ留学生の異なる国々の文化や習慣にも関心を持つ。	○			○			30
■技能的領域	自分で調べ、友達と話し合い、クラスで発表することで、日本語での情報収集、情報伝達、原稿作成、発表などの基本的スキルを養成する。	○		○	○			40		
成績評価の基準	授業期間における演習への参加、レポート、口頭発表の各得点を合計し、60点以上の者を合格とする。									
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『クローズアップ日本事情15--日本語で学ぶ社会と文化』（佐々木端枝著、ジャパンタイムズ、2017）、 『日本語学習者のための読解厳選テーマ10（中級）』（清水正幸他著、凡人社） 参考書：『ことばの風景（2）-日本の大学・地域・文化-』（吉重美紀著 鹿屋体育大学2008） 『日本人らしさの発見』（芳賀 綏著、三水舎、2013）									
履修条件・ 関連科目	外部講師による日本語補講（レベル別）を同時に履修する事が望ましい。 7月、12月実施の日本語能力試験に挑戦する事が望ましい。		備考(教員メッセージ含む)		学部留学生だけでなく大学院生や研究生も受講できますので、事前に相談に来てください。					
オフィス・アワー	火曜日 15時50分～16:50分 図書館2階 吉重教員室									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	吉重 美紀	日本語プレイスメントテスト、インタビュー、オリエンテーション				第1課を読む（1時間）				
2	〃	Unit 1. 日本ってどんな国？Section 1,2				Task A,Bの発表準備をする（1.5時間）				
3	〃	U.1.3 火山と森林、地震が起きても慌てないために				Task C,Dの発表準備をする（1.5時間）				
4	〃	Unit 2. 都市の暮らし・地方の暮らし				Task A,Bの発表準備をする（1時間）				
5	〃	Unit 2.3. 古民家ブームから見えてくること				Task C,Eの発表準備をする（1.5時間）				
6	〃	Unit 3. 日本の旅を楽しもう				Task A,Bの発表準備をする（1.5時間）				
7	〃	Unit 3.3.都市部で発達する地下鉄網、ICカード				Task D,F,Gの発表準備をする（1.5時間）				
8	〃	Unit 4. いただきます				Task B, Cの発表準備をする(1時間)				
9	〃	Unit 4. 道の駅、B級グルメとご当地グルメ				Task E,F,Gの発表準備をする（1.5時間）				
10	〃	鹿児島県方言				出身地紹介の発表準備をする(1時間)				
11	〃	Unit 5 季節を楽しむ年中行事				Task A, Bの発表準備をする（1.5時間）				
12	〃	U.5 年中行事と食べ物				Task E,Fの発表準備をする（1時間）				
13	〃	夢中になる人たち：鉄道ファンの世界				最終口頭発表の準備をする（1.5時間）				
14	〃	オタク、万歳！--留学生スピーチ--				最終口頭発表の準備をする(1.5時間)				
15	〃	最終口頭発表				発表指導				